

Clover

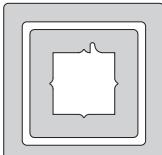


クリップ セット L・S

67-508
67-509

*この説明書は〈L〉〈S〉共通です。イラストは〈L〉で説明しています。

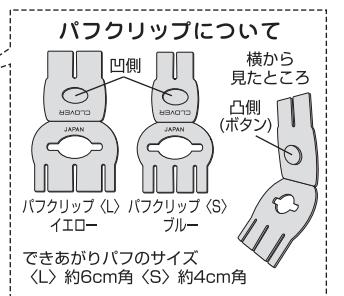
セットに入っているもの



テンプレート
:1セット



パフクリップ
:20ヶ



○ 適している布

普通地～薄地のコットンや
リネン(ブロード、シーチング、
ダブルガーゼ、ワッフルなど)、
薄地ウールなど
※サテン、きもの地など、
やわらかくすべりの良い布は
扱いが難しくなります。

✗ 適さない布

中厚地～厚地(デニム、帆布、
オックスフォード、別珍、パイ
ルなど)、極薄地(オーガンジー、
ガーゼ、レースなど)、
皮革および合成皮革、
コーティング加工布など

用意するもの

- ・布地、わた(手芸用ポリエステル綿など)

	トップ布	ベース布	わた
L	13.4cm角	9cm角	約2~4g
S	10.4cm角	7cm角	約1~2g

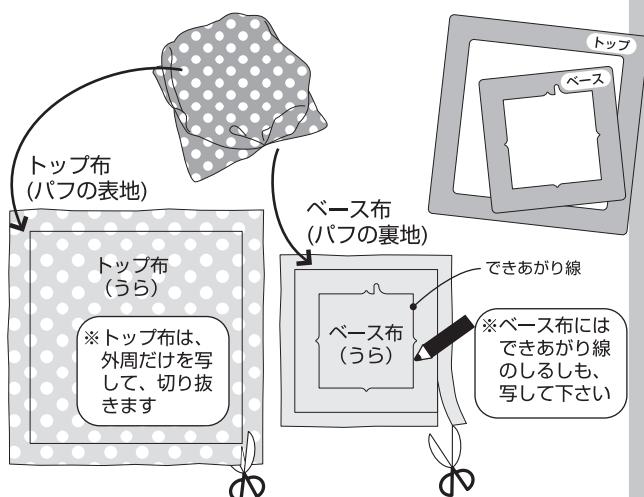
*わたしの量は目安です。種類や詰め加減によって異なります。
※つぶ綿は適していません。

- ・針
- ・片押さえ(ファスナー用押さえ金) ※ミシンを使う場合
- ・はさみ、ぬい針、ぬい糸
- ・鉛筆またはボールペン、チャコペル等
※布の裏面にしるしをつけるので、裏うつりしないもの

基本のパフの作り方

1 布の準備をします

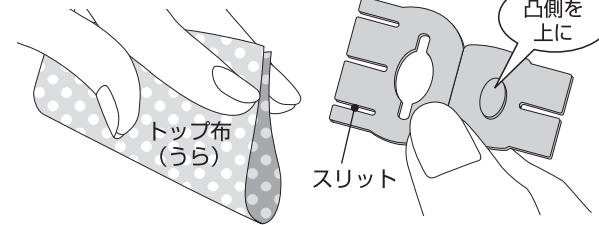
テンプレートの外周で布地の裏側にしるしをつけ、カットします。



*テンプレートは角が丸くなっていますが、布の角は四角く切って下さい。

2 クリップでひだをたたみます

- ① トップ布を中表にして半分に折り、図のように中指と人差し指で挟んで持ちます。



凸が上になるように開いたクリップを、もう片方の手で図のように持ちます。

- ③ 反対側クリップ

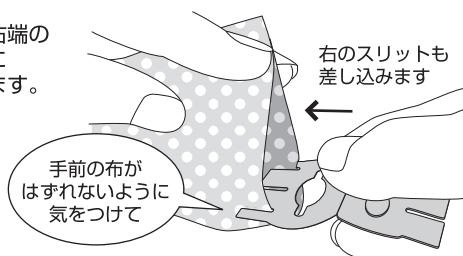


②

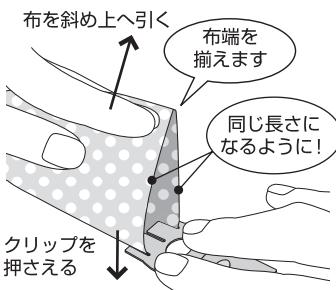
手前の布に、クリップ(穴のある側)の左端のスリットを差し込みます。



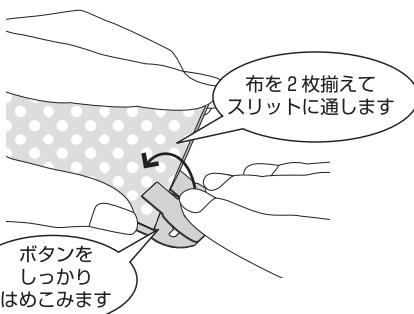
次に、奥の布を右端のスリットに差し込みます。



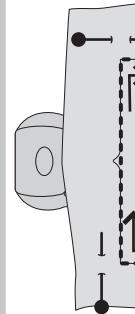
クリップを指で押さえて、軽く布を上に引きます。(強く引きすぎるとスリットから布が外れるので注意して下さい)



反対側のクリップ(ボタンのある側)を起こし、スリットに布を通します。ボタンがカチッとはまるまでしっかりと押さえます。



4 縫い合



縫い合

折じ(この)

クロバー株式会社

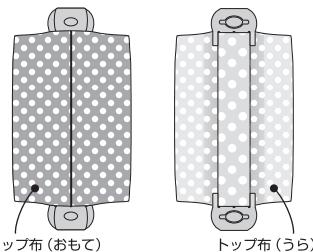
ふんわりパフクリップ クリップセット 説明書 表面 / 左

サイズの大きい説明書は2枚にわけています。もう1枚の · 印と合わせてお使い下さい。

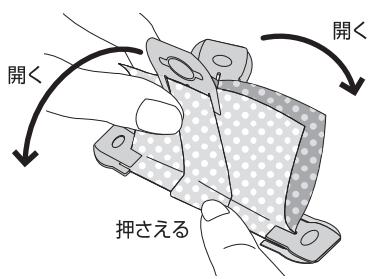
ように開いた
もう片方の
に持ちます。

凸側を
上に

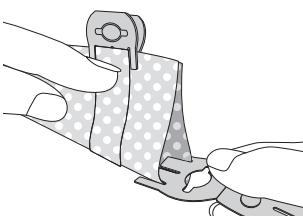
- ③ 反対側も同じようにクリップをとめます。



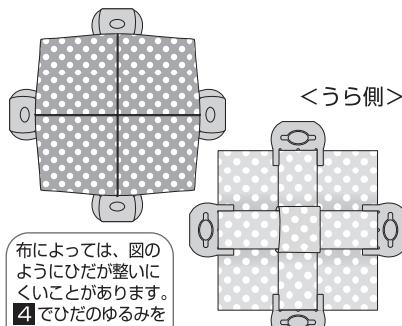
とめ終わったら、ひだが整うように指で押さえながら開きます。



- 残り2ヶ所も同じようにクリップをとめます。



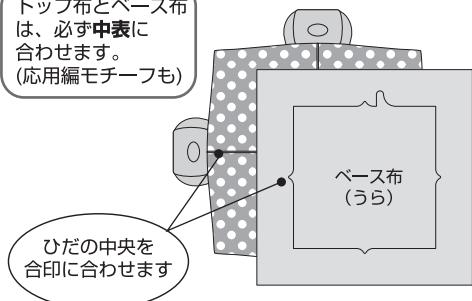
<おもて側>



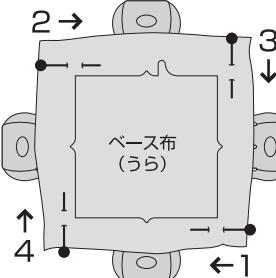
3 トップ布とベース布を合わせます

トップ布とベース布を中表に合わせます。

トップ布とベース布は、必ず中表に合わせます。
(応用編モチーフも)



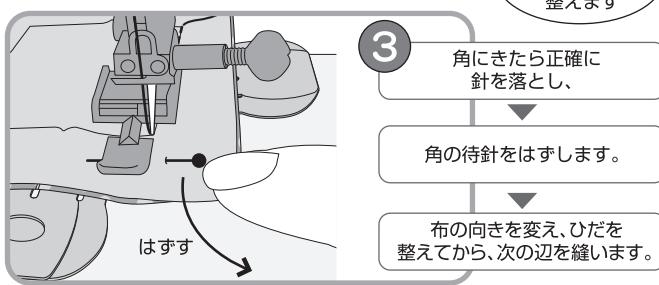
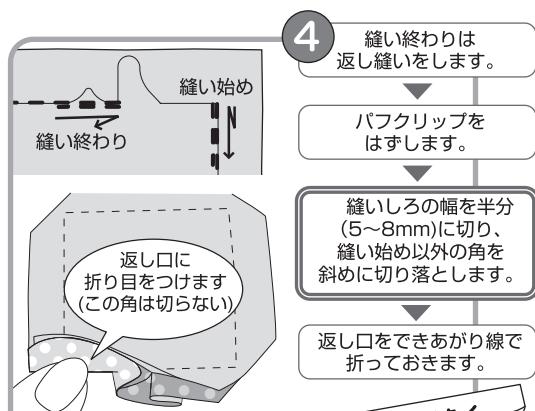
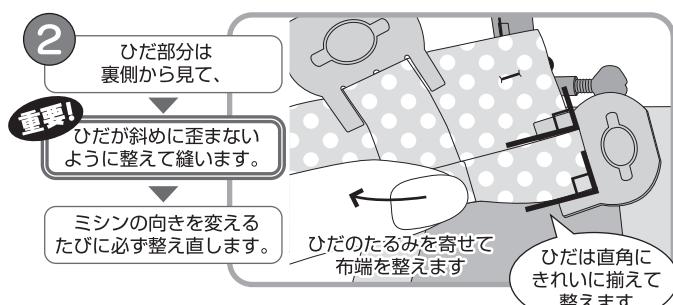
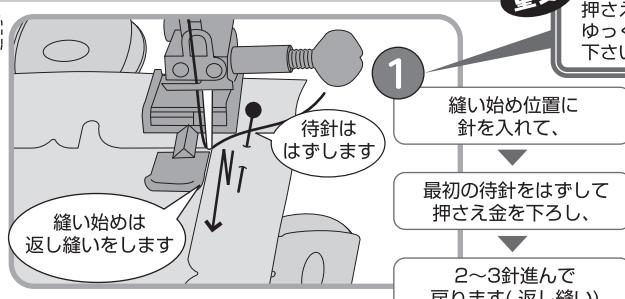
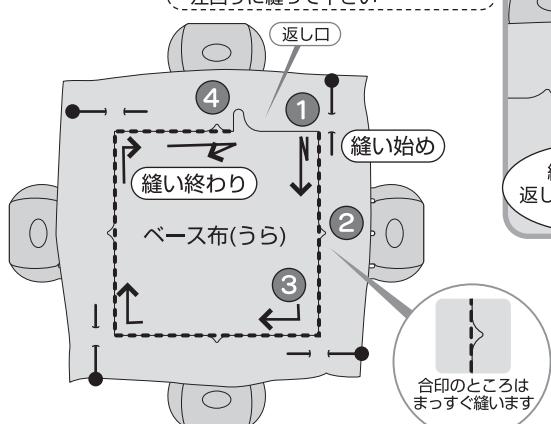
ぬいしろ部分を数字の順番に、図のように待針で止めます。



4 縫い合わせます

*手縫いでも作れます。(縫い始めと縫い終わりは返し縫い、その他はなみ縫い)
**Sは角の縫い始めで押さえ金がクリップを踏むことがあります。注意して下さい。

(※手縫いで作る場合は、④から始めて左回りに縫って下さい)



説明書裏面に続く

*パフクリップを縫わないようご注意下さい。ミシンの破損の原因となります。

070702 クロバー株式会社

ふんわりパフクリップ クリップセット 説明書 表面 / 右

サイズの大きい説明書は2枚にわけています。もう1枚の · 印と合わせてお使い下さい。

5 裏返します

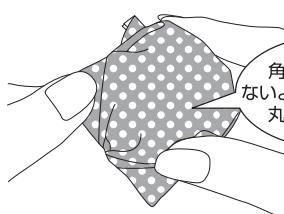
返し口からモチーフを裏返し、角を整えます。



目打ちなどを使って、角をきれいに出します

6 わたを詰めます

返し口からわたを詰めて、形を整えます。量はわたの種類や仕上がりの好みで調節して下さい。



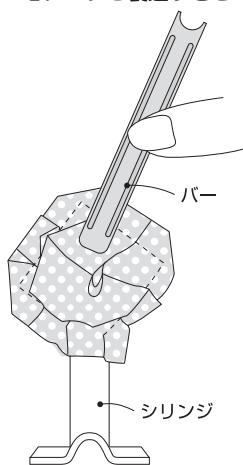
角にはわたが入らないように、中央部分を丸くふんわりと！

オススメ！

便利ツールのご紹介

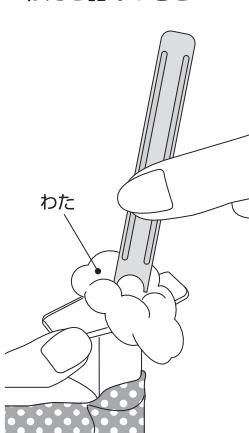
「ふんわりパフクリップ スターターセット」<L><S>には、モチーフを裏返したり、わたを詰めるのにとても便利なシリング&バーがセットされています。

*モチーフを裏返すとき



小さな返し口でも
ラクラク&スピーディー

*わたを詰めるとき

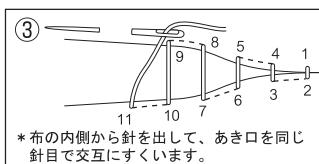
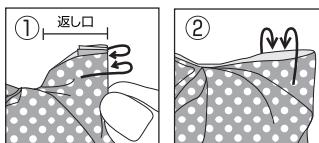


スイスイ入って爽快！
しかも固まりになりにくくふんわりした仕上がり

一つで二役！便利でカンタン、
仕上がりきれいでしかもスピーディー！

*シリング&バーは<L><S>でサイズが異なります。
適応したサイズをお使い下さい。

7 返し口をとじます



* 布の内側から針を出して、あき口を同じ針目で交互にすくいます。

- ① タテ方向の縫いしろを折り込みます。
- ② できあがり線で縫いしろを内側に折りこみます。
- ③ 手縫い(ラダーステッチ)で返し口をとじます。

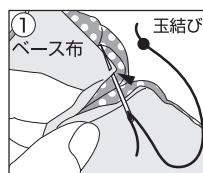
できあがり！



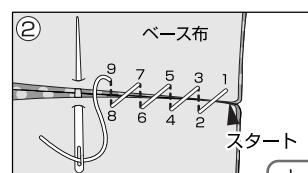
パフのつなぎかた

*基本のつなぎかた

つなげたいパフを合わせて、図のようにベース布側を上につまんで持ちます。

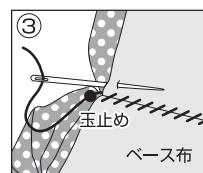


- ① 玉結びをして、角から縫い始めます。トップ布とベース布の間(◀)に針を入れ、ベース布から針を出して糸を引き、玉結びを隠します。



- ② ベース布をすくって、巻きかがりをします。

* 針は布地に対して垂直に刺します。
縫い目は斜めに糸が渡ります。

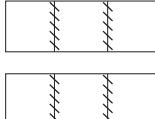


トップ布に糸が出ないように縫うと
きれいに仕上がりります

- ③ 縫い終わりはトップ布とベース布の間に針を出して玉止めします。
玉止めしたすぐそばに針を入れ、少し離れたところから針を出して糸を引き、玉止めを隠して糸を切れます。

*たくさんつなぐ場合

- ① まず帯状につなぎます。② 帯状につないだモチーフ同士を並べて縫いつなぎます。



角はクロスに
しっかり縫います

* 全体を見てモチーフの幅が合うように調節しながらつなぎましょう。

* バッグなど強度が必要な場合は、縫い目を細かくして、必要に応じて裏地をつけて下さい。

取扱上の注意

- ミシンを使用する場合は、本品(パフクリップ)を縫わないようになされても注意して下さい。ミシン及びミシン針の破損の原因となり、また、けがのおそれがあります。● 高温により変形しますのでアイロンなどでの使用はお避け下さい。● 極薄地、中厚～厚地、すべりのよい布、硬い布等には適していません。● 過度の力が本体に加わると破損・変形の原因となります。● 長期間使用しない場合は、布地をセットしない状態で保管して下さい。● 用途外のご使用はお避け下さい。



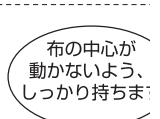
① 基本のパフの⑤まひだの中央をつまむ
バラの花のように



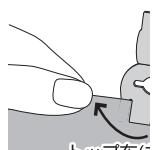
② 形が崩れないよう何ヶ所か止めます。して、返し口から外側のひだと内側接しているところです。



基本のパフの①と
様に布を準備しま



② 布の中心が動かないよう、しっかり持ちます。



③ 手前側の布を右に入れます。



④ 左の布を左端の

真上から見たイ

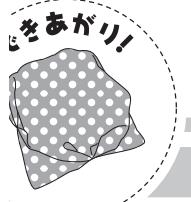
クロルビー株式会社

ふんわりパフクリップ スターターセット 説明書 裏面 / 左

サイズの大きい説明書は2枚にわけています。もう1枚の印と合わせてお使い下さい。

応用編 わたを詰めずに、ひだのアレンジを楽しむこともできます。

方向の縫いしろを
込みます。
あがり線で縫いしろ
側に折りこみます。
い(ラダーステッチ)
し口をとじます。



-ス布側を上に

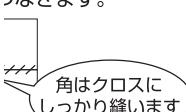
から縫い始めます。
布の間(◀)に針を
ら針を出して糸を
します。

布をすくって、巻き
をします。
に対して垂直に刺します。
斜めに糸が渡ります。

出ないように縫うと
仕上がりります

布とベース布の間
めします。
ばに針を入れ、少し
針を出して糸を引き、
を切ります。

ひだモチーフ同士を
つなぎます。



節しながら

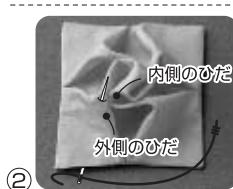
を細かくして、

①を縫わないようなく
の破損の原因となり、
変形しますのでアイロ
厚~厚地、すべりのよ
力が本体に加わると破
い場合は、布地をセッ
使用はお避け下さい。

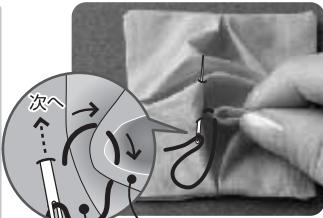
バラモチーフにする場合



① 基本のパフの⑤まで作ったたら
ひだの中央をつまんでねじり、
バラの花のように整えます。



② 形が崩れないように、ひだを
何ヶ所か止めます。玉結びを
して、返し口から針を入れ、
外側のひだと内側のひだが
接しているところに針を出し
ます。



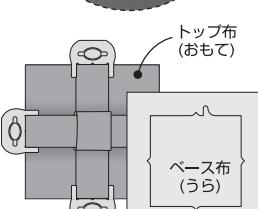
③ 次へ
内側のひだ
外側のひだ
内側のひだを下向きに少しずくい、
返し縫いのようにして元の位置の
すぐ近くに針を入れます。
ひだの中をくぐらせて次のポイント
(外側のひだと内側のひだが接して
いるところ)に針を出し、糸を引き
ます。



④ 同様に3~4ヶ所止めたら、ひだの
中の目立たないところに玉止めをし
て、針をベース布側へ引き出し、糸
を切れます。

返し口をとじて完成です

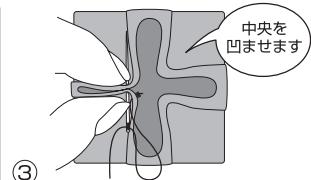
クロスモチーフにする場合



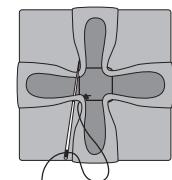
① トップ布のうら・おもてを逆にして、
基本の①②を作ります。
③ではトップ布とベース布を
中表に合わせます。



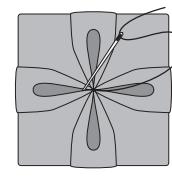
② ④⑤を参考に縫い合わせ、お
もてに返します。



③ 玉結びをして中央から針を入れ、
ひだ山を縫いとめます。
(ひだ山の上から2mm位の位置で)



④ 一周縫ったら、中心へ針を出します。
(上から3~4mm位の位置へ)



⑤ 引き締めて玉止めをし、針を
ベース布側へ引き出して糸を
切れます。

返し口をとじて完成です

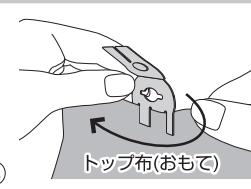
風車モチーフにする場合 (左回り)

基本のパフの①と同
様に布を準備します。

① トップ布を中表に2つ
折りにし、クリップ
中央のスリットに
差し込みます。

② 布の中心が
動かないよう、
しっかりと持ちます
手前側の布を右へ開き、右端のスリット
に入れます。

③ 布の中心が
動かないよう、
しっかりと持ちます
左の布を左端のスリットに入れます。
[真上から見たイメージ図]



④ 布がずれないよう注意しながら
クリップを左へ倒します。

⑤ 布(おもて)↑
クリップは
裏返しになります
トップ布(おもて)

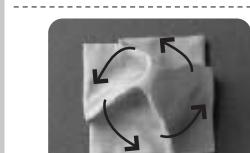
⑥ 右端の布を端のスリットに
入れてクリップをとめます。

⑦ 布(おもて)↑
右端の布を端のスリットに
入れてクリップをとめます。
⑧ 布(おもて)↑
クリップは
裏返しになります
トップ布(おもて)

⑦ 基本の③~⑤と同様にベ
ース布と縫い合わせて返します。



⑧ ひだを伸ばし、
ピラミッド形にします。

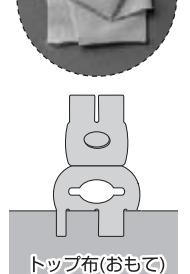


⑨ 頂点を押しつぶしながら、
ひだを左回りに倒します。



⑩ 頂点が正方形になるように
整えて折り目をつけます。
返し口をとじて完成です

右回り風車にする場合



① 左回り風車の
作り方と左右を
逆にして、クリ
ップをとめます。



② 右上のひだに
なります。

クロルバー株式会社

〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5

070702

ふんわりパフクリップ スターターセット 説明書 裏面 / 右

サイズの大きい説明書は2枚にわけています。もう1枚の · 印と合わせてお使い下さい。